

輸出事業計画

※申請者名：丸トポートリー食品(株)コンソーシアム、品目：鶏肉

1. 輸出における現状と課題

<現状>

- 1 丸トポートリー食品（株）コンソーシアム
 - （1）愛知県内の生産者、食鳥処理業者（丸トポートリー食品（株））、輸出事業者が組織
 - （2）丸トポートリー食品(株)のブランドである「錦爽（きんそう）名古屋コーチン」及び「錦爽どり」を、2017年から香港に輸出
 - （3）コンソーシアムの輸出ターゲット国は、香港、ベトナム、カンボジアの3か国
- 2 ターゲット国のニーズ
 - （1）香港：スーパーマーケット等小売業態向けの商品開発（個食パック）、鮮度
 - （2）ベトナム・カンボジア：ローカルは中抜き、高級レストランは正肉

<課題>

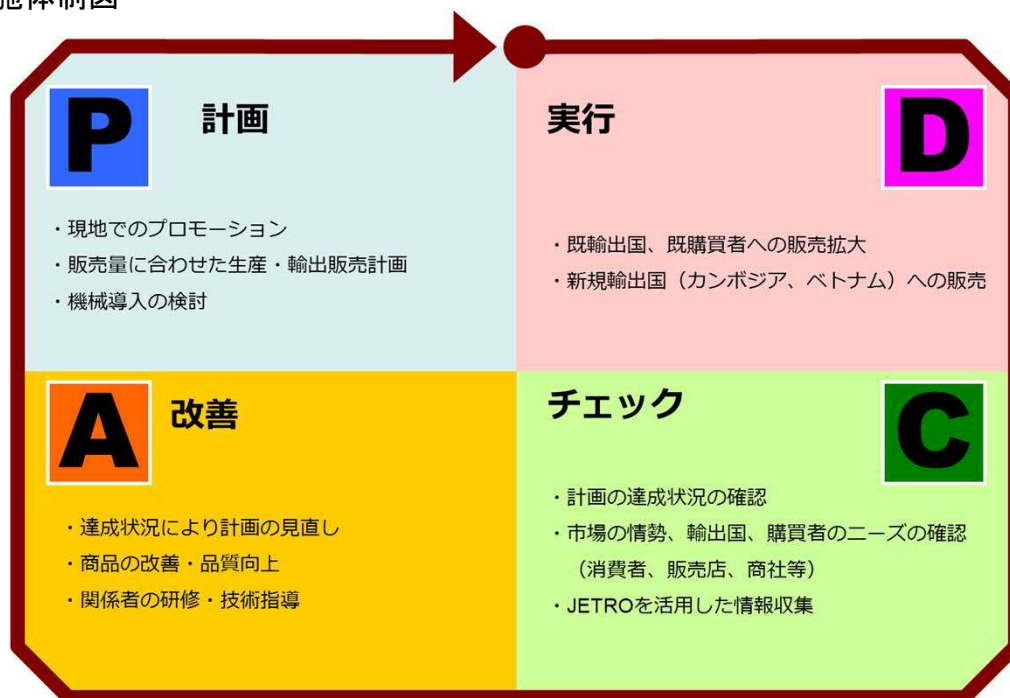
- 1 輸出を拡大するための体制整備（人材育成）
- 2 顧客ニーズに合わせた商品開発（小売業態向け商品）
- 3 鮮度を確保した商品開発、流通体制の整備（冷蔵設備の整備）

2. 輸出事業計画の取組内容

- 1 加工処理施設
 - （1）商品生産量の増加や個食パックに対応した機械導入
- 2 流通など
 - （1）現地の販売活動に対応できる体制整備及び人材育成
 - （2）鮮度を確保した流通体制の整備
 - （3）安定的な商業流通が可能となる現地代理店の確保

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCA実施体制図

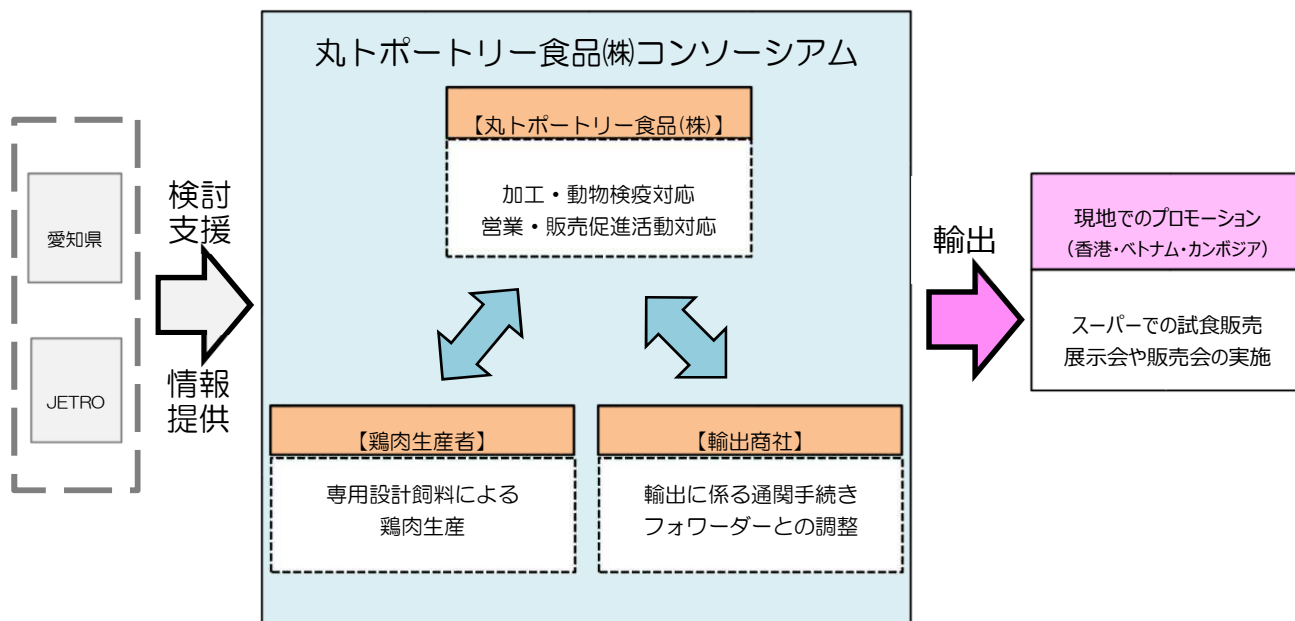


輸出事業計画

※申請者名：丸トポトリー食品(株)コンソーシアム、品目：鶏肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

事業の組織体系図及び連携体制図



4. 輸出目標額

